

■ 近代舞踊の第一人者

石井 漠

いしい ばく

出身地 三種町（旧山本町）

1886年（明治19年）～1962年（昭和37年）

創作舞踊に目覚め、東京オペラ座を結成。現代舞踊の創始者ダンカン、サカロフにあこがれて渡欧。ドイツでリズム運動を研究し、その後欧米各国で自作舞踊公演を行い絶賛される。代表作に「人間釈迦」がある。



年譜

- 1886年 三種町（旧山本町）に生まれる。本名・忠純。
- 1911年 帝国劇場歌劇部第1期研究生となる。
- 1915年 帝劇で「舞踊詩」（創作舞踊）を発表。
- 1917年 浅草日本館で「東京オペラ座」公演。
- 1922年 渡欧。ドイツ、フランス、イギリスで公演。
- 1930年 石井漠舞踊学校を開校。
- 1953年 「人間釈迦」3幕、日比谷公会堂で初演。
- 1955年 紫綬褒章第1号。全日本芸術舞踊協会初代会長。
- 1961年 石井漠舞踊50周年記念大会。自ら舞台に立つ。
- 1962年 東京都で没。75歳。